第35回　福島・毛馬出張所管内
河川レンジャー運営会議(R4.2.22)
資料－3

令和3年度（下半期）
淀川管内河川レンジャー 活動報告集計表

福島出張所管内河川レンジャー

平井　裕三　　（11期生:4年目）
桑村　和男　　（14期生:試行）
森　幸治　　（14期生:試行）
山本　雅彦　　（15期生:試行）

毛馬出張所管内河川レンジャー

阿部　晟大　　（12期生:3年目）
伊藤　茂　　（12期生:3年目）
岸田　俊徳　　（15期生:試行）
谷口　正子　　（15期生:試行）

河川レンジャーアドバイザー

辻川　松子
池宮　實
亀井　伸幸

目　次

1. 活動報告集計表について …… 1

2. 福島出張所管内河川レンジャー

平井　裕三　（11期生:4年目） …… 3
桑村　和男　（14期生:試行） …… 4
森　幸治　（14期生:試行） …… 6
山本　雅彦　（15期生:試行） …… 8

3. 毛馬出張所管内河川レンジャー

阿部　晟大　（12期生:3年目） …… 9
伊藤　茂　（12期生:3年目） …… 10
岸田　俊徳　（15期生:試行） …… 11
谷口　正子　（15期生:試行） …… 12

4. 河川レンジャーアドバイザー

辻川　松子 …… 13
池宮　實 …… 14
亀井　伸幸 …… 15

5. 連携 …… 16

1　活動報告集計表について

1.1　目的

活動報告集計表は、河川レンジャー活動の充実・向上および河川レンジャー制度の進捗点検に活用することを目的としています。

1.2　集計表の概要

集計表は、活動報告をもとに、活動で得られた成果と課題をとりまとめた資料です。

活動ごとに河川レンジャーによる活動の確認結果を一覧表としてまとめています。さらに、一覧表には、河川レンジャー自身が、活動結果の確認の総括として、『活動全体におけるアピールポイント』および『活動結果を踏まえた今後の課題・改善点』を記載しています。

1.3　活動結果の確認

河川レンジャーが活動結果を自ら確認する内容は、以下のとおりです。

各河川レンジャーが、年間活動計画において位置付けた活動の目的・目標（STEP１～３）の達成状況を確認・記入するとともに、活動の充実度、定着度、地域への貢献度、河川事業への貢献度について確認し、該当する項目には○を付け、そのなかでも、アピールポイントに記載した内容に特に関係の深い項目は、●を付けることとしています。

表 1.3.1「達成状況」「取り組み内容」の確認項目

項目	内容
目標等に対する達成度	1）年間活動計画に示した目標や活動内容に沿った取り組みができたか？
	2）年間活動計画に示した「課題に対する改善点」を踏まえた取り組みができたか？
活動の充実度 （活動における工夫の有無）	① 活動内容について、これまでの課題を“改善”するような工夫はあったか？ ② 活動内容を更に“充実・発展”させるような工夫はあったか？ ③ 活動内容に関して、参加者の声を聞くような取り組みや工夫はあったか？ ④ 活動の広報において、口コミ以外で参加者数を増加させるような工夫はあったか？ ⑤ 継続活動において、メンバー構成（レンジャーの参加者や連携団体）は多様化したか？
活動の定着度 （活動の定着度や広がり、公共性、公平性、継続性の有無）	⑥ 活動は地域の要望（ニーズ）を受け継続しているか？ ⑦ 活動において地域の協力は得られているか？ ⑧ 活動は広く周知され、誰もが公平に参加しやすいものとなっているか？ ⑨ 継続活動において、活動回数や参加者数は増える傾向にあるか？
地域への貢献度 （地域（人）と川の繋がりの促進への貢献度）	⑩ 地域住民の川への興味を向上させ、川の利用、川とのふれあいを促進したか？ ⑪ 地域や連携を図った相手の“川に対する考え”や“活動”に変化はあったか？ ⑫ 河川を愛護する団体などを創出したか？
河川事業への貢献度	⑬ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“住民意見の聴取”（すでにある計画や施設に対する意見の聴取・収集）に貢献したか？ ⑭ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“ニーズの抽出”（河川管理者が把握できていないニーズの抽出）に貢献したか？ ⑮ 河川整備や水辺整備、河川管理への住民の関わり（事業等のプロセス（ワークショップなど）への参加・協力）を促進したか？

1.4　貢献分野

集計表では、活動ごとに、主たる貢献分野（一つの活動につき一つの分野）と波及貢献分野（一つの活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野で、複数の分野に該当している場合があります）を示しています。

表 1.4.1 河川レンジャーの活動事例

貢献分野	活動事例
A：治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
B：環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
C：河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、Eボート体験
D：維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所の把握
E：歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
F：川・人づくり	河川公園ワークショップ、意見交換会、ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出

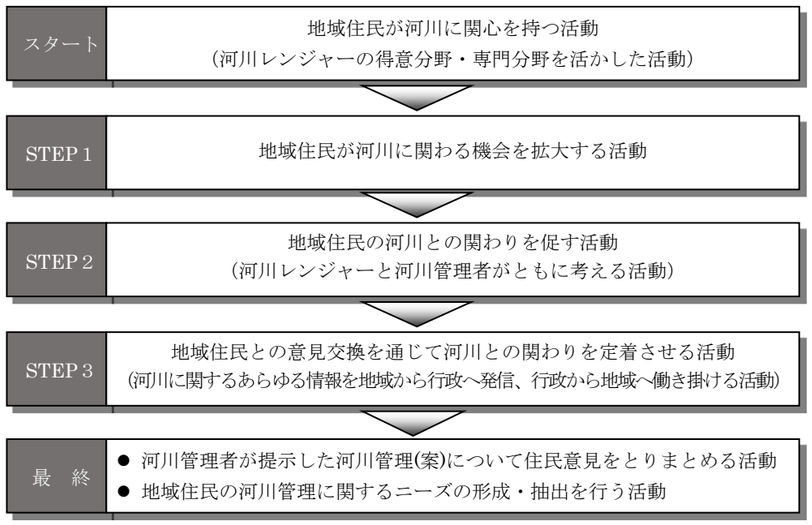
1.5　運営会議における意見聴取

運営会議では、活動の成果と課題を確認し、活動の充実・向上に向けた意見聴取を行います。

会議における意見は、河川レンジャー活動の定性的評価として資料にとりまとめるとともに、活動の改善につながるよう河川レンジャーに提示します。

～河川レンジャーの目指す方向～

河川レンジャーの活動は、自然観察や施設の見学会などの河川への啓発活動を単発的に実施するのではなく、最終の目標を見定めて、知識や経験等の蓄積に応じてステップアップを図りながら、河川レンジャーの役割を果たしていくこととしています。



河川レンジャーの目指す方向

活動報告集計表の凡例

集計表には、単独活動と連携活動の 2 種類があります。
単独活動は、河川レンジャー1 名が主催（または共催・協力）した活動であり、
連携活動は、企画から運営までを複数の河川レンジャーが連携して実施した活動です。
各項目の確認内容を示します。なお、活動ごとのアピールポイント記載欄には、計画していた活動が未実施の場合は、その理由を記載しています。

氏名		区分		所属	

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	実施時期
Step1			
Step2			
Step3			

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期		

＜活動の充実度＞
活動において工夫･変化･発展があったか。また、広報において工夫･取り組みがされているか確認。

＜活動の定着＞
活動の定着度や広がり、公共性、公平性、継続性の有無や地域の協力は得られいるかなどを確認。

＜地域への貢献度＞
地域（人）と川の繋がりの促進への貢献度を確認。活動により、地域･自治体に変化をもたらすことができたかを確認。

＜河川事業への貢献度＞
河川整備や維持管理などに関する住民意見やニーズを集めることができたか確認。また、河川整備や水辺整備、河川管理への住民の関わりを促進することに貢献できたか確認。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動　その場合は、未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	人づくり・川づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2019/5/6	第3回●●河川公園整備計画検討ワーキンググループ	●●市●●公民館（●●地区）	共催	45	1	2		普通	普通	3	3			●			○								○			○		○		○	SNS（facebook）での告知を行った結果、参加者数の増加に繋がった。
2	2019/6/10	●●川クリーンアップ＜連携＞	●●川●●橋～●●橋区間	共催	200				できた	できた	2	2		○		●		○		○		●		○	○	○		○						活動後の座談会で河川管理に関する意見が出たので、活動報告に併せて河川管理者への報告を行った。（住民意見の聴取に貢献した）
3	2019/7/10	●●川での魚つかみ体験＜他ブロック管内で実施＞	●●川●●橋付近	主催	30			1	できた	普通	1	1		●	○			○			○			○		○		○	○		●			

＜貢献分野＞
それぞれの河川レンジャー活動が、どれだけ幅広い分野に波及効果をもたらせたかを確認。
●：主たる貢献分野　○：波及貢献分野

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	平井　裕三	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	福島出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

下流域は災害の中でも淀川に関する水害に関する備えが必要で、近年台風やそれに伴う高潮の発生で関心が高まっています。また近年地球温暖化などによりゲリラ豪雨や台風の規模が大きくなっています。
住民が水防災を考えるきっかけづくりとして淀川の近くであるという地域特性や避難についての考え方のご提案できればと思います。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	水害の知識、心構えを発信し、ともに学ぶ	①防災の啓発 淀川に関する防災の知識を知ってもらう	⇒	⇒	⇒	⇒	
		②歴史探訪 淀川に関する水防施設や歴史的名称を知る活動	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	河川レンジャーとして管理者が協働して情報の共有に取り組む	①水防災に関する活動 淀川に関連する施設見学や浸水時の避難等のワークショップ			⇒	⇒	
		②治水・川の管理を学ぶ 淀川の河川管理について学ぶ活動 （工事見学等）			⇒	⇒	
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	活動で得られた意見をまとめて行政や河川管理者に報告（提案）し、情報の収取を容易にしたり、情報の利用の簡素化を図る。	①防災について 防災訓練など行政と地域の方との話し合う機会をつくりどれもが取り残されない防災を考える。				⇒	⇒

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	昨年同様、陸閘訓練時に台風、高潮について学べるイベントを開催予定でしたが、緊急事態宣言下ということもあり、実施に至れなかった。	オンラインでなく実施型で開催したかったが、コロナによるイベントの実施が困難な状況が続いているので、オンラインでの開催も考えて行くべき
年間	9月末まで緊急事態宣言下で活動ができない中、10月に活動が再開できた。活動は河川の清掃活動と、SDGsについてのワークショップでそれぞれ違う活動で川の大切さを紹介できた。	従来活動していた自分のテーマでもある防災に関する活動ができなかった。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色:計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度		河川事業への貢献度				
									1)	2)	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/10/23	河川清掃	新御堂筋高架橋下の側道部および淀川河川公園西中島地区	主催	16人				できた	できた	1	1		○		●			●					●					○					[充実度]清掃活動をしながら伐木のことなども説明できた [定着度]企業はSDGsなど環境に関する意識は高まって今後企業のCSRは増えるように感じる

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	桑村　和男	区分	河川レンジャー（試行）	所属	福島出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

地球温暖化により、最近の異常気象―特に台風・集中豪雨災害が多発しています。また、東南海地震は必ず発生すると言われており、地震・津波災害が予想されます。私の住む大阪市西淀川は、淀川・神崎川に囲まれたゼロメートル地帯で、特に台風等の水害ー淀川の水害に見舞われてきた歴史をもっています。ところが最近では、過去の歴史を知らない世代が多くなり、また、淀川に行く経験も少なくなり、水害のことに無関心で住んでいる地域の危険度も知らない人が多くなっています。第2室戸台風の水害を経験した私は、河川レンジャーの活動を通じて、淀川の洪水と人々の防災への取り組みの歴史を住んでいる人に伝えて、これから予想される災害に備えていく活動を地域と連携して進めていくことを目指します。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	・淀川に 来てもらって、 見てもらって、 体験してもらって、 ⇒身近に淀川を より知ってもらう。	淀川歴史まちあるき	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		バッタのオリンピック		⇒	⇒	⇒	⇒
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	・河川レンジャー活動をPRして 知ってもらう。	地域のイベントに河川レンジャー活動の展示		⇒	⇒	⇒	⇒
		防災ワークショップを開催		⇒	⇒	⇒	⇒
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域住民と淀川の課題について話し合う場をつくって、意見を発信していく。	地域の場（町内会等）での防災活動		⇒	⇒	⇒	⇒
		西中島地区でのめかき活動		⇒	⇒	⇒	⇒

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	・計画していた連携活動2件が、 コロナ緊急事態宣言のため中止 ・毎月の河川レンジャー委員会出席 ・淀川マイタイムラインのオンライン研修会参加 ・水辺の安全チェックー淀川右岸（淀川大橋～東海道線上淀橋梁）調査報告 実際の活動はできなかったが、オンライン等に参加し、知識の向上に努めた。	今後withコロナの時代に向けて、オンライン等での情報発信が必要になる。 先ずは対応できる知識の修得
年間	10月から、コロナも下火になり、活動を再開し、2件の活動を取組む 10月バッタのオリンピックを主催し準備をすすめたが当日雨天中止。 11月淀川歴史まち歩き開催。淀川の河川敷を歩き、現在淀川で行われている工事の紹介、ゴミ投棄の問題、自然再生の取り組等を参加者に説明し淀川の現状を知って理解してもらった。 スタッフ協力として他レンジャー活動に5回参画した。 毎月、河川敷ウォーキングし、樹木伐採後の状況及びヨシ原再生の観察を続けている。	参加者の募集に苦労した。 来年は、早めに募集活動を進めていきたい。

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	桑村　和男	区分	河川レンジャー（試行）	所属	福島出張所

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															アピールポイント
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1)	2)	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/11/21	淀川歴史まちあるき③　淀川区～北区	大阪市西淀川区　淀川河川敷	主催	10人				できた	普通	1	1		○		○	●			●	○	○	○		○	●	○	●						[充実度]配布説明資料の充実 福島出張所に依頼して、最新のパンフレットの入手。ヨシ原再生の説明資料は今回のために作成して頂いた。 今回初めて、アンケート用紙を作成して、まち歩きゴール地点で記入してもらって回収をした。 [定着度]淀川河川レンジャーのホームページより申込受付を実施した 圓称寺に下見のときご挨拶をして淀川改修記念碑の見学を許可してもらい、当日はトイレも貸していただいた。 [地域貢献度]ヨシ原再生、渡り鳥自然環境、船着場の整備、淀川左岸線工事について知ってもらった。
2	2021/10/31	バッタのオリンピック（福島地区）	十三野草地区（案）																															雨天のため中止

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	森　幸治	区分	河川レンジャー（試行）	所属	福島出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

地域住民が防災意識を持ち、有事の際に主体的に避難活動を行うことができる。
地域住民とは、成人だけではなく、子どもから老人、障害をも持つ方など全ての人である。地域の繋がりを有効に使い、あるいはさらに発展させ、災害への備えができるようになる。
また、地域住民が行きたいと思えるような河川環境づくりの活動を行っていく。綺麗な景観を維持するクリーン作戦などの活動や、河川事務所との連携、淀川を知ってもらう啓発活動を行っていく。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	健康に興味のある方々、主に退職後の高齢者などを対象に活動を知ってもらい、興味を持ってもらう。参加者が有事の際に避難する行動が取れる準備ができるようになる。	①自然観察と防災の話を一緒にする企画、マイ・タイムライン	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	防災の知識を深め避難行動が取れるようになり、住民自身が地域に教えることができるようになる。 地域住民と連携し、川の課題を解決していく。（景観）	①避難訓練、防災指導者支援、			⇒	⇒	⇒
		②クリーン作戦、めかき活動（連携）	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	河川敷の景観を記録し、報告会で発表しつつ、地域住民に活動を広め、さらにめかきやクリーン作戦への参加者を募っていく。	①めかき報告会			⇒	⇒	⇒

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	緊急事態宣言の影響があり、上半期の活動は実施しなかった。仕事もさらに多忙となり、今年度は個人の計画としては防災のみとしている。レンジャー活動ではないが、淀川区の淀川河川敷フェスティバルの実行委員として会議に参加している。	淀川河川敷フェスティバルの人脈も活用し、来年度の計画を立てていきたい。具体的には、十三干潟の自然観察会を検討中。
年間		

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	森　幸治	区分	河川レンジャー（試行）	所属	福島出張所

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/11/28	庭窪水害防災講座　～ハザードマップとマイ・タイムラインを用いて～	庭窪コミュニティセンター	共催	22人		1		できた	普通	1	1	●						●					○	●		○		●					[充実度]初めての個人の活動。講座中の交流もまずまずできたと思う。 [定着度]講座終了後に、守口市の別の地域の町内会からも依頼したいと声が上がっていたとのこと。依頼があれば続けていきたい。 [地域貢献度]コミュニティセンターでは水害講座を始めて実施するということで、大変勉強になったとのこと。
2	2021/11/	淀川自然観察会	西中島地区																															とりやめ

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	山本 雅彦	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	福島出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

試行期間中に今後の活動を実施するために自身に不足している知識や課題を洗い出し、先輩レンジャーの活動に参加し経験を積んだりアドバイスをもらいながら今後の活動をスムーズに進めることができるスキルを身に着けるようにしたい。（STEP1の実行）
試行期間後の１期目はSTEP2の活動を着実にひとりで実行するだけでなく、＋αの要素を加えることで次年度につなげる。またSTEP３の活動を２期目に実行できるために地域の活動に積極的に参加し信頼関係を構築しておく。
２期目はこれまで実施した活動を後輩レンジャーと一緒におこなうことで後輩レンジャーが活動しやすくなることを意識し、自身は地域住民の意見が川づくりに反映する仕組みつくりに取り組む。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		２期	
				１年目	２年目	３年目	４～RA
Step1 地域住民の関心を高める	地域とのつながりをもつ。	①どのような団体があるのか調査し、行政やレンジャーアドバイザーと相談し参加する。 ②まず１団体から開始し、感触が得られたら他団体に展開する。		⇒	⇒	⇒	⇒
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	活動を実施およびネットワークを拡張・強化する。	①ヨシ刈り・紙漉き	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		②防災マップつくり	⇒	⇒	⇒		
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	信頼関係が構築できた団体を対象として川に関するヒアリングを実施することで問題とされる項目を理解し、その改善案をレンジャー活動のテーマとする。	① レンジャー活動のブラッシュアップ				⇒	⇒

3. 総 括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	６回の実行委員会をはじめ、新規レンジャー研修、意見交換会、発見講座、水防災研修に参加し川そのものや河川レンジャー体制に関する知識は向上していると感じています。疑問点はオンラインで同じグループになったレンジャーアドバイザーとメールを通してアドバイスをいただくようにしています。また「水辺の安全利用調査」や施設の見学等、実際に淀川付近を歩くことで来年度以降の活動ネタのヒントを見つけることもできました。	コロナ禍の影響のためさまざまな制約があり、着任前に想像していた自身が実際に主催するレンジャー活動ができていないという自覚はあります。ワクチン接種が遅れている小学生を対象とする①ヨシ刈り・紙漉きは来年度へ先送りとし、②防災マップつくり（住んでいるマンションの町会関係者対象）の実施に絞って取り組みたいと考えています。また再開する他のレンジャー各位の活動に積極的に参加し、活動のノウハウや考え方を学ぶ予定です。
年間	これまでに開催された10回の実行委員会全てに参加し、積極的に発言するよう努めました。 他のレンジャー活動には1件のみの参加になっていますが、活動当日の流れを把握することができました。 また②の水防災活動は本年2月に実施予定で、河川レンジャーの講習だけでなく他団体のオンライン講演会を聴講することで理解度を深めることができています。	継続してコロナ禍の影響のため活動の制限が考えられますが、この1年間で経験したことを振り返ることで思い切った行動・活動ができると思います。 また昨年11月に参加した「河川の課題把握ウォーキング」はそれ以降毎月ひとりで実施しています。今後も継続することでまだ気づけていない「淀川の課題」を発見する機会にしたいと考えています。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2022/3/27	水防災勉強会　ハザードマップ学習、マイ・タイムライン学習	自宅マンション集会場																															
2	2021/12/	ヨシ刈り	（未定）																															今年度はとりやめ
3	2022/2/	紙漉き・卒業証書製作	小学校の理科室																															今年度はとりやめ

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	阿部　晟大	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

・都会の中心を流れる淀川には今なお素晴らしい自然が残っているが、その自然が外来生物などの影響で消えかけている現状を沢山の人に知ってもらい淀川に関心を持ってもらう。また、環境問題に関心のある同年代の仲間を見つけ、今の淀川の環境問題を話し合い、解決のために活動するネットワークを作る。

・年間２００回程度淀川に行っているため、その経験と知識を使い今の淀川を多くの人に知ってもらう。

・若い力を集め淀川の環境問題を解決し、淀川の生物多様性を蘇らせる！

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		２期	
				１年目	２年目	３年目	４～RA
Step1 地域住民の関心を高める	・色々な人に淀川の今の自然を知ってもらう活動（勉強会、観察会など） ・自然環境を研究している大学の教授などとコンタクトを取り色々な大学の学生と共に活動を行う。（主に外来生物の駆除など）	・都会の中の豊かな自然を知ってもらう。 ・環境悪化で追い詰められつつも懸命に生きている淀川の生き物を知ってもらう。 ・今の淀川の環境問題を改善したいと考えている学生を集める。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	参加した学生の中から特に環境に興味のある人を集めて淀川の環境の未来について考える学生ネットワークを組織し淀川の環境問題について議論する。	・淀川の環境の未来について考える学生ネットワークを組織する。 ・学生ネットワークと共同で淀川の環境の勉強会や観察会を行う。			⇒	⇒	
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	行政と学生が淀川の環境問題について直接話し合えるネットワークを作る。	・学生ネットワークを拡大する中で地域の行政や市民団体との繋がりを強め淀川の環境問題を解決する。					⇒

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期		
年間		

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	伊藤　茂	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

地域住民に淀川の四季、自然や美しさ楽しさを再発見させる。
また防災や危機管理などの意識づけや水辺の安全教育も子どもから保護者へまたは、大人から子どもへ自然体験活動を通じて学んでもらう。
自然体験活動を通じて地域住民の川に対する関心を深め防災及び環境についても共通認識を向上させる。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		２期	
				１年目	２年目	３年目	４～RA
Step1 地域住民の関心を高める	遊びを通じて淀川の自然を学ぶ。	自然観察会と水辺の遊びを通した情報発信と河川レンジャーの知名度ＵＰの為の広報活動の実践。	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	自然体験活動を通じて流域住民の皆様が防災の共通意識を高め地域団体や活動団体などの連携を強化活用し相互協力体制の構築を目指す。	区行政と連携し子どもから老人まで地域に即したより細かい防災減災活動を提案し実行する。			⇒	⇒	⇒
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺や河原の保全・再生や身近な自然を楽しめる川にする為、川とまちが一体となった河川整備を実施できるよう地域住民と行政とのパイプ役になる。	地域住民・地域団体・行政区との協働で環境に適した住民の希望や意見の入った新しい河川公園の整備改修の取り組みを行う。					⇒

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	上半期はコロナ禍で活動はほぼできませんでした。	コロナ禍も踏まえリモート的な活動で動画での発信（河川のQ&Aの動画）など模索していきたいと思います。対面活動がやはり良いですが、対面以外の活動も考えていきたいと思います。
年間	コロナ禍の合間を縫って主催活動は1回しかできませんでした。秋しか活動機会がなく、10月は色々と支援など重なり10回以上活動いたしました。	活動が思うようにできなかったこともあり達成感もなく、ただコロナと共に時間が過ぎてしまったという感じです。昨年よりリモートや動画に関しては接する機会が多くなり、だいぶ理解できてきていると思います。次年度の地域住民と行政協働の防災活動や自然観察会などを充実できるよう考え実行に移せるよう努力します。コロナ禍が終息してからの活動が楽しみです。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/10/10	淀川自然体験昆虫（バッタオリンピック）	淀川河川公園赤川地区	主催	34人				できた	普通	1	1		●									●		○									[充実度]他の出張所からの応援が3人も来てくれました。
2	2022/2/7	区民カレッジマイ・タイムライン	オンライン開催	協力	30人	1			普通	普通	1	1	●								○			●	○									[充実度]リモートなので参加者の声を聞くのは出来なそうですがやればできました。但し限界がありますね。簡単な事だけになりました。 （質問クイズに指名して答えさせるなど） [定着度]区民カレッジの授業の一環として要望にお応えして講義をさせて頂いた経緯があり昨年度から2回目でした。今後また違った講義や体験会などの発展なども考えられそうな感じがしました。
3	2022/3/	子ども防災　避難スイッチ	都島区役所																															コロナ感染拡大防止のため中止
4	2021/8/8	赤川ワンド生き物観察	赤川ワンド																															コロナ感染拡大防止のため中止
5	2021/11/1	大阪市内を水災害から守る防災と環境保全	毛馬出張所																															コロナ感染拡大防止のため中止
6	2021/1/23	淀川自然体験Ⅲ野鳥観察とヨシ笛作り	淀川河川公園赤川地区																															とりやめ

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	岸田　俊徳	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

「近隣住民を含む多くの人々に対し水辺への興味度を上げます。」
水辺は楽しいことがなんでも出来るイメージがあるが実は危険な個所が多く、また、見るからにきたない箇所や一部の河川利用常連者（釣り、ラジコン、非動力船）などが幼い子供を持つ親子などに不安を与えることが多いのも今の状況です。
誰もが楽しく憩える場所づくりを5年かけて行いたいと思っています。水辺への興味こそが水辺を知る原動力になり、河川で遊ぶだけでなく生態系や防災への興味、緩やかな水辺利用ルールに繋がっていくと考えています。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	水辺をみんなで知る。	①淀川名人養成体験講座 「クロベンケイガニ」釣りを通じて 淀川の環境について参加者と考える。	⇒	⇒	⇒		
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	水辺を誰かに伝える。	①淀川名人養成講座		⇒	⇒		
		②淀川検定		⇒	⇒		
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺の使い方を提案実施する。	①					

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	淀川を数回にわたり、一人で下見を行った。レンジャーの活動経験が少ない分、素人の目線で河川を感じることが出来た。グラウンドやホームレス村は整備されているのに、水際の整備はほとんどされていない。こっそり遊びに行き、事故にあう子どもが出るのは、いたって当然の環境だと感じた。10月の活動では、自分たちが遊びたい(関わりたい)場所は自分たちで整備していく必要があることも発信したい。	活動は10月17日に行う予定。 今後も体験をベースにした活動内容を続ける予定。 ただ、生き物だけにとどまらず、水辺の安全編、防災編、歴史編など色んなジャンルから淀川について考える機会を作りたい。 次年度は、淀川への興味の間口を広げ、関わった方々が発信しやすい「淀川検定」の検討を進めたい。
年間	コロナ禍でありながら、下半期に活動を行うことが出来た。 レンジャーのお手伝いをしながら、連携や情報周知などの方法を学ばせていただくつもりでいたが、活動が少なく、不安ではあったが、レンジャーや事務局、先生方へ相談しアドバイスを聞くことが出来たので、順調に行うことが出来た。 生き物は、非常に興味を持ちやすいきっかけになることも改めて実感した。この興味を河川の環境へも広げてもらえる良いコンテンツになったと思う。	活動は、1度きりではあったが、参加者へ河川への興味を持たせることが出来たと感じる。今後、親子で環境に興味を持ちやすい「生き物」や「植物」「施設」と触れる体験活動を行う予定。 生き物や植物は、外来種の処理問題や観察時期を深く掘り下げて伝えるために自身の学習や調査が必要と感じている。 「楽しい」をきっかけに参加者が自分事に感じるために検定問題の作成を活動に取り入れる。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1)	2)	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/10/17	淀川名人養成講座（クロベンケイガニ編）	柴島ワンド	主催	27人				できた	普通	1	1		●	○	○				○			●		○	●	○	●	○					[充実度]レンジャー2名の応援があった [定着度]告知は、公共施設、住居周辺へのチラシ掲出だけでなく、SNSやレンジャー活動への協力時にも行った。

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	谷口　正子	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所

1. 活動の目的･目標

1.1活動の目的

淀川に人々が関心を持ち、川にふれ、川のことをお互いに考えられるような関係を地道に築いていく。身近にある淀川は、自然と触れ合える場所。自分たちの良き居場所となるように働きかける。淀川を美しく居心地よく感じられる、人と川が繋がる機会を作っていく。

1.2活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		２期	
				１年目	２年目	３年目	４～RA
Step1 地域住民の関心を高める	地域住民（参加者）が淀川に関心を持ち、身近にある自然の良さに気づく。	①堤防の斜面を利用して遊ぶ。自然に目を向ける。コロナ渦で5月末まで延長調査できるタンポポ調べにふれる。	⇒	⇒	⇒		
Step２ 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む		①					
		②					
Step３ 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築		①					

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期	河川敷が四季折々に見せる自然の息吹きを知るきっかけとして、バッタに焦点を当てる。採集したバッタを観察し飛ばすことで淀川の自然に興味関心を持つ人を増やすこと。活動する中で、心なく捨てられているゴミの現実に目を向けて、今後の各自のマナー意識を高めてもらう。	自然を通じた観察は、時期とコロナ禍が活動を困難にする。また、自然の観察・活動にはその時期や天候が実施に支障をきたすことが多々ある。雨天時に差し替えで、学べる何か工夫がいる。
年間		

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動(未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。)

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	人づくり・仕組づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/10/24	バッタのオリンピック	淀川河川公園（太子橋地区）	主催	32人				できた	できた	1	1		●		○					●				●		○	●	○					[充実度]連絡を取り合うことで活動への動機づけとワクワク感を。保護者にはアンケートを実施。子ども達には直接感想を聞いた。 [定着度]守口市歩こう会のメンバーが趣旨を理解してスタッフとして参加協力。 [地域貢献度]河川公園でバッタをきっかけに、身体と五感を働かせて遊ぶ楽しみを味わえた。

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	辻川　松子	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
新北野中学校わがまち防災スクールP-１	次世代の育成を基に　災害時の危機管理の啓発と知識の習得
新北野中学校わがまち防災スクールP-2	次世代の育成を基に　災害時の危機管理の啓発と知識の習得

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期		
年間	コロナ禍で、感染状況の確認と感染予防の対策を講じつつ、貴重な時間を確保できたことが大きな収穫と考える。また今回の授業で学んだ「自助・公助・共助」を活かし、”災害時”に地域の力となり大きな役割を果たしてくれることが、期待される。	下記の内容が、課題・改善点とすることは難しいものの、事業実施にあたって、学校からの打診・事業申請・コロナ感染症拡大に伴う変更など、実施内容が二転三転と変更し、表示出来ないほどの時間と手間がかかり過ぎた。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動　その場合は、未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/10/7	新北野中学校わがまち防災スクールP-１	大阪市立新北野中学校	主催	221人			1				3	●	○					○	●	○			●										[充実度]関係所管から出される内容を鑑み、新しい情報を取り入れた講座内容に心がけた。 [定着度]学校授業であることから地域の参加はないものの、学校の要望を基にした内容で実施。今では、10年を超える継続事業になっている。
2	2021/10/8	新北野中学校わがまち防災スクールP-2	大阪市立新北野中学校	主催	252人	2		1				3	●							○			●	○	●				●						[充実度]10年を超える事業であることから、ボランティアの数も多くなっている。RAのネットワークで育ったボランティアが他校区へ協力してくださる状況になっている。 [定着度]協力するボランティア自身が、良き体験場所として活かしている。 [地域貢献度]協力するボランティアが、地域の防災活動につなげている。
3	2022/2/4	大阪市立宮原中学校防災スクール	大阪市立宮原中学校	主催																														コロナ感染拡大防止のため中止

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	池宮　實	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
大阪市環境局講座	令和3年3月に策定された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の目標達成のために開講される「発見」「理解」「行動」につながる時事問題シリーズ講座において、淀川の環境改善の取り組みを広く周知し、河川レンジャー活動を紹介するために講師として講演を行います。

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期		
年間	河川及び屋内・屋外を問わず新型コロナ感染症の感染拡大予防のため活動は中止せざるを得ませんでした。河川レンジャーとして企画したすべてが第2波～第5波、オミクロン株拡大期とバッティングしてキャンセルせざるを得なくなり残念な年となりました。かろうじてWEB開催の外部団体主催の講座への講師協力だけの活動になりました。ただし、自粛期間中に過去の活動の振り返りと今後の活動のための資料作成の時間が取れ救われました。	―

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動　その場合は、未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2021/10/9	大阪市環境局講座「淀川の環境改善の取り組み」	おおさかＡＴＣ グリーンエコプラザ	協力	52人									●																				―

活動報告集計表＜単独活動＞

氏名	亀井　伸幸	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所

1. 活動の目的

活動名	活動目的
大阪北区ジシン本講座「水害の備えと対策」	大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援室の主催にて 大阪市北区役所と大阪北区ジシン本事務局による「ジシン本講座」のオフライン講座プログラム「水害の備えと対策」の講師を務める。 三方を河川に囲まれ、浸水想定被害も甚大な事が予測される大阪市北区での、浸水時の危険や、早期避難（タイムライン）の重要性を認識してもらう。さらには、歴史もふまえた淀川の治水防災の解説とともに、近年多発する台風、高潮の危険、ゲリラ豪雨による内水氾濫時への備えや対処方法を広く知ってもらう。河川レンジャー、レンジャーアドバイザー活動として継続している地域住民への水防災啓発活動、淀川に興味を持ってもらう活動の一環として、ジシン本講座（大阪市北区役所が行っている防災講座）への講師協力を行うことで、地域住民に水防災とその備えの意識を高めるとともに、淀川河川事務所の取り組みや河川レンジャーの取り組みについても知ってもらう。 「まず逃げる」 そのために「知る」「備える」をテーマに水の防災啓発を行いたい。
豊崎中学校防災訓練	豊崎中学校防災訓練において水害体験ゾーンの運営を行い、生徒に冠水、浸水時の市街地の危険や、 早期避難（タイムライン）の重要性を認識してもらう。さらには、淀川の治水防災の解説とともに、近年多発する台風、高潮の危険、ゲリラ豪雨による内水氾濫時への備えや対処方法を広く知ってもらう

3. 総　括

	活動全体におけるアピールポイント	活動結果を踏まえた今後の課題･改善点
上半期		
年間	引き続き、下流域では大規模工事が行われており、河川に近くことができない現状である。淀川左岸線2期工事の大規模な工事、船着き場、閘門、航路等の整備がなされ、河川と住民との日常に大きな変貌を見せている。そのような環境下での記録を続けている。数年後の貴重な資料となりうるよう、現状の変わりいく姿を撮り続けています。河川に近づいての活動ができない代わりに、防災面での活動を行い、北区役所や町会等の要請に応じて河川レンジャーの公式活動以外においても、淀川下流と水防災の解説などを行った。また、レンジャー養成講座での水防講師なども務めさせていただいた。	新型コロナウイルス感染拡大による世情の変化によって、河川レンジャー活動への運営や補助に参加することがほとんどできないままになってしまった。また新任R へ、行政担当者や地域への紹介や、活動アドバイスをすべく動くものの、活動へスタッフ参加してもらったり、情報交換をするなどの実動面において思っていたような引き継ぎまではできない現状である。今後、コロナ禍の状況を見つつ、なんとか、フィールドワークや行政関係者への新任Rのアプローチを行っていければと考えています。何にしても、ここ数年の淀川下流域、特に淀川大堰より下流の整備とその姿の変貌には大いに興味があるとともに、周辺住民の疑問や課題解決に向けて、何らかの力になれればと思います。

2. 活動計画と実施結果　凡例｜灰色：計画に対して未実施となっている活動　その場合は、未実施となった理由をアピールポイント欄に記載しています。

No.	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																			活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度			
									1）	2）	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	2022/11/20	豊崎中学校防災訓練	大阪市立豊崎中学校	共催	259人	2	2	2	できた	できた		2	●						○	○	●			○	○				○				○	［充実度］体験終了後の解説において、参加者（生徒）から浸水地を歩いた所感を話してもらったり、質問を受け付ける時間を設けた。それらの発言は教諭や区役所、地活の人とも共有した。
2	2021/9/25	大阪北区ジシン本講座「水害の備えと対策」	クレオ大阪子育て館　講習室																															コロナ感染拡大防止のため中止

活動報告集計表＜連携活動＞

1. 全体集計表

No.	河川レンジャー名	実施状況					連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容															アピールポイント
		活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	確認項目															
																				活動の充実度					活動の定着度				地域への貢献度			河川事業への貢献度				
										1)	2)	計画	結果	A	B	C	D	E	F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
1	平井R 伊藤R	2021/10/23	ワークショップ（川の大切さを学ぼう）1日目	大丸心斎橋	協力	22人		1		できた	できた	1	1		●		○														●				[地域貢献度]SDGsのイベントで川の美化について訴えることができた
2	平井R 伊藤R	2021/10/24	ワークショップ（川の大切さを学ぼう）2日目	大丸心斎橋	協力	11人		1		できた	できた	1	1		●		○														●				[地域貢献度]SDGsのイベントで川の美化について訴えることができた
3	杉本R 原RA 酒井RA 伊藤R	2021/11/7	鳥飼ワンド外来植物駆除大作戦	鳥飼ワンド1号・3号	共催	17人	1		1	できた	できた	2	2		●		○		○			●								●				●	[充実度]他地域での駆除活動に参加しているIVUSAの学生さんも参画いただき貴重な意見を聞くことができた [地域貢献度]参加した学生のなかには、淀川を初めて訪れた方もいた。川の環境や生き物について学び、関心を高めることができた。
4	道場R 安田R 桑村R 出来RA	2021/5/16	守口市こどもまつり出展	大枝公園																															コロナ感染拡大防止のため中止
5	平井R 桑村R	2021/6/	防災セミナー・陸閘見学	西淀川野里会館（予定）																															コロナ感染拡大防止のため中止
6	平井R 桑村R 森R	2022/1/	西中島地区の樹木伐採後の維持管理	西中島地区																															とりやめ
7	伊藤R 岸田R	2022/2/13	ＯＳＡＫＡ　ＣＩＴＹ　淀川左岸クリーン作戦	毛馬閘門北東側　蕪村石碑前																															コロナ感染拡大防止のため中止
8	辻川R	2022/3/5	3区合同淀川右岸クリーン大作戦（淀川区）	西中島河川公園～阪急京都線高架下付近の間																															コロナ感染拡大防止のため中止
9	平井R 桑村R	2022/3/5	3区合同淀川右岸クリーン大作戦（西淀川区）	塚本駅（柏里商店街～国道2号線）																															コロナ感染拡大防止のため中止
10	岸田R 山本R	2022/3/5	3区合同淀川右岸クリーン大作戦（淀川区）東淀川区）	菅原城北大橋右岸側下周辺の右岸側の河川																															コロナ感染拡大防止のため中止